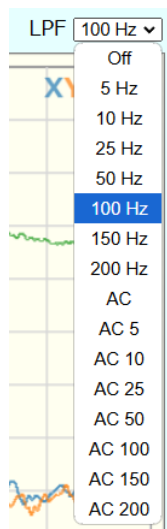


- ① "Data"の選択肢に"LF Accel."を追加しました
 - ・ "重力除く加速度"に相当するものです
 - ・ FFTでは重力加速度を無視しますが、測定中に姿勢変化があると0Hz近くに大きなピークが生じる場合があります
- ② "Type"に生波形の選択肢"Waveform[]"を追加しました
 - ・ "Type"="Waveform[]"の場合、"Start"と"Span"は時間[秒]単位で指定します
- ③ "Data"="LF Accel."でなおかつ"Type"="Waveform[]"の場合、"LPF"が使えます
 - ・ 高い周波数の信号に埋もれた低い周波数の波形を浮かび上がらせることができます
- ④ "Type"="Waveform[]"の場合"Range"の選択肢が変わります
 - ・ 値を指定する選択肢が±両極性になります
 - ・ "LPF"が使える"Data"="LF Accel."の場合、選択肢"LPFAuto"が追加されます

Auto	"LPF"適用前の信号に基づき"Range"が決められるので、"LPF"設定を変えた時の変化が見やすくなります
LPFAuto	"LPF"適用後の信号に基づき"Range"が決められるので大きく表示され細部が見やすくなります

"LPF"選択項目の説明



Off "LPF"は適用されず、元のままの信号波形がグラフ表示されます

xxx Hz カットオフ周波数xxx Hzの"LPF"が適用されます

AC 信号波形の平均値(DC成分)が差し引かれ、電気信号計測のACモードに相当します
"LPF"は適用されません

AC xxx ACモードでなおかつカットオフ周波数xxx Hzの"LPF"が適用されます

FAQ それバグではありません...

Q1 グラフが表示されない

A1 Range 設定が合っていない様です
Data=LF Accel. で Type=Waveform[] の場合、Range 設定が合っていないとグラフが天井または床に張り付くことがあります

Q2 Data=LF Accel.を選べない

A2 Type=Envelope[] だとそうなります

Q3 Start が変えられない

A3 Start を変えなくても全部見られる状態になっているはずです
Span=1.6k または All の場合、全てのデータがグラフ表示領域に収まります

Q4 Range が勝手に変わる

A4 以下の場合、設定の潜在的不整合を防ぐため Range を変更します
・ Type 設定を Waveform[] からそれ以外に変更 ⇒ Range=Auto
・ Range=Auto の時に LPF 設定を AC... に変更 ⇒ Range=LPFAuto

Q5 Detect up to が変えられない

A5 Type=Waveform[] だとそうなります

Q6 Type で Envelop[] が選べない

A6 Data=LF Accel. だとそうなります (Data を Accel. に変更してください)

Q7 Min/Max が表示されたり消えたりする

A7 以下の場合に表示され、それ以外では消えます
・ Type=Waveform[] 以外で
・ Span が 240 以上

Q8 LPF が表示されたり消えたりする

A8 以下の場合に表示され、それ以外では消えます
・ Type=Waveform[] で
・ Data=LF Accel.